

令和7年度 ハンドボール部の指導方針等について

令和7年5月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名		東京都部活動指導員	資格等や経験	頻度
主顧問	浅井 知	鈴木 翔太	東京都外部指導員認定	年 630 時間
副顧問	森永	多田 咲紀	東京都外部指導員認定	年 640 時間
副顧問	井野 由香			
副顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や、協働・協調の精神を養う
- (2) 競技大会等の目標
関東大会出場
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
府中市ハンドボール協会主催の大会ボランティア、近隣中学生への技術指導

3 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間
練習は、原則火～日曜日の週5日間とし、練習時間は平日2時間、休日3時間を基本とする。
- (2) 休養日
学期中は月曜日と土曜日に休養日を設ける。さらに定期考査1週間前や定期考査期間中は、公式戦の日程等と重ならない限り休養期間とする。
長期休業中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。
- (3) 活動場所
本校ハンドボールコートの基本とするが、遠征等も有り得る。
- (4) 練習や試合等の計画
必要な時期、生徒の状態をみて練習試合を行う。(大会期は4, 5, 6, 10月)
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識育成
社会人として通用するあいさつや態度の育成と、時間の感覚を身に着ける。
- (6) 生徒相互の人間関係
自他を尊重し、チームとして活動していく中で協調性や責任感を養う。
- (7) 学習と部活動
文武両道の基本理念にのっとり、練習の効率を上げ、学習時間を確保する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

根拠のあるトレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。

(2) 生徒間の暴力禁止

社会人として通用する人間関係を養うことを徹底する。いかなる場合も暴力や SNS での攻撃をしてはいけないことを、日々の活動で指導する。

(3) 外部指導員の活用

怪我防止の身体能力を身に付ける。

5 大会等の主な記録

<男子>

国公立大会優勝

都大会ベスト 1 6

<女子>

国公立大会優勝

関東予選ベスト 4

関東大会出場

6 今年度の参加予定大会

大会名	日付
① 関東予選	4月中旬～5月上旬
② インターハイ予選	5月中旬～6月中旬
③ 国公立大会	8月下旬
④ 新人戦	10月上旬～11月中旬
⑤ チャレンジャーカップ、府中市民大会	

7 部員数

	男子	女子	合計
1年			
2年	8	6	14
3年	12	8	20
合計	31	23	54

8 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまった休養日	週休日の活動日数
1 学 期	4	新入生勧誘、高体連ハンドボール総会参加、春季大会、高校総体都予選へむけた練習、練習試合、神奈川遠征		4月/3日
	5	春季大会、高校総体都予選、部活動見学会（保護者向け）	5月中間考査 一週間前と考査中	5月/4日
	6	高校総体都予選、基本技術習得のための練習		6月/4日
	7	合宿に向けた体作り、基礎的技能の応用、中学生との練習	7月期末考査 一週間前と考査中	7月/3日
	8	夏季合宿、府中市ハンドボール協会主催の大会ボランティア 国公立大会、国体予選、ハンドボール技術講習会、夏休み勉強会	8月合宿後 4日間	8月/3日
2 学 期	9	秋季大会へ向けた練習、練習試合、中学生との練習	9月陽光祭準備 陽光祭前3日	9月/4日
	10	秋季大会、神奈川遠征、中学生に向けた練習体験会	10月中間考査 一週間前と考査中	10月/4日
	11	チャレンジャーズカップ、教育研修大会に向けての練習	11月期末考査 一週間前と考査中	11月/4日
	12	チャレンジャーズカップ、教育研修大会、大掃除	年末2日	12月/3日
3 学 期	1	初詣、書初め、基礎体力作り、基礎技能の確認	年始4日 1月入選3日	1月/3日
	2	中学生に向けた練習体験会、基礎技能の応用技術の確認	2月入選3日	2月/4日
	3	春季大会に向けた練習、神奈川遠征 被災地の子供たちを招待したチャリティー トーナメントボランティア	3月学年末考査 一週間前と考査中	3月/4日

令和7年度 卓球部の指導方針等について

令和7年4月16日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	田中 貴浩		競技経験あり	
副顧問	小島 賢次			
副顧問	古橋 竜哉			
副顧問	瀬尾 美香			
副顧問				

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
自ら実践する強い行動力と課題を見つけ克服するよう努力する
- (2) 競技大会等の目標
国公立大会で優勝を目指す
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地元中学校への強化練習参加などを通し、相互に技術力を高める

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
月（2時間）・木（2時間）・土（3時間）を全体練習日とし、火・水は、場所が確保できないため自主練習日とする。
- (2) 練習や試合等の計画
練習日：月・火・水・木・土
高体連主催大会に参加。それ以外にも市民大会等オープン戦に参加
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識育成
挨拶をする。時間を守る。片付けの徹底。
- (4) 生徒相互の人間関係
先輩・後輩の枠を超え、交流・技術指導を生徒相互で行い、切磋琢磨する。
- (5) 学習と部活動
考査一週間前には部活動を休止して、勉強に専念させる。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
体罰・暴言等のない指導を徹底することについて、顧問・生徒・保護者間で共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
上級生から下級生へ、また同学年同士での暴力が起こらないよう指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
指導員の確保が難しく、実現できていない。

5 新型コロナウイルス感染症防止対策

毎朝の検温等、自己の健康管理を徹底させる。移動の時はマスクを着用するよう指導し、対外練習試合や公式戦時は、健康観察表及び保護者の同意書の提出を徹底する。また、こまめな手洗いをを行い、共用物は消毒を徹底して行う。

6 主な年間計画（参加予定だった行事を含む）

学 期	月	内 容	
1 学期	4	部活紹介・体験入部 春季大会兼関東予選【男】 春季大会兼関東予選【女】	考查期間 (休み)
	5	インターハイ予選【男】 インターハイ予選【女】	
	6	インターハイ予選【男】団体 夏季大会【女】	考查期間 (休み)
	7	多摩地区大会【男】 学年別大会【女】 合宿（7/30～8/2）	
	8	国公立大会【男女】	
2 学期	9	市町村大会【男女】 全日本ジュニア予選【男】	考查期間 (休み)
	10	新人戦【男】 秋季大会【女】	
	11	新人戦【女】	考查期間 (休み)
	12		

3 学期	1	市町村大会	考查期間 (休み)
	2	冬季大会【女】	
	3	市町村大会【男女】 多摩ジュニア大会【男女】	

令和7年度女子バスケットボール部の指導方針等について

令和7年4月25日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	都竹 もみの			
副顧問	須藤 美枝			
副顧問	立花 大和			

2 年間目標

- (3) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協調の精神を養う部活動」
を取り組み目標とする。
- (4) 競技大会等の目標
東京都高等学校体育連盟の公式戦で東京都ベスト16を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
コロナが終息したら、地域の中学生との合同練習や練習試合を行う。

3 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）
練習は原則週に5日間とする。火・木曜日は体育館が使用できるので
2時間半程度の練習。水・金曜日は、1時間半程度の練習。
- (2) 休養日
平日→月曜日 週休日→土曜日または日曜日
- (5) 活動場所
体育館等
- (6) 練習や試合等の計画
1週間に1回程度対外試合を行う
- (7) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行・時間を守る態度の育成・礼を重んじる態度・人の嫌がることにも率先して
取り組む意識
- (8) 生徒相互の人間関係
バスケットを通じて、協調性（他人を助け、反対意見を持つ人に耳を傾ける。）友
情（お互いを尊敬し、献身的な態度をとる）を身につける。
- (7) 学習と部活動
バスケットを通じて何事にも勤勉に取り組む態度を身に着け、そのことが学習にも生
かされる。保護者会は年2回実施
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策
移動の時はマスクを着用するよう指導し、対外に出る場合及び公式戦時は、健康観察表
及び保護者の同意書の提出を徹底する。また、こまめな手洗いをを行い、共用物は消毒を
徹底して行う。アルコール洗浄液を部で購入。15分に1回程度手指の消毒を励行

4 指導内容・方法

(3) 体罰・暴言等のない指導

指導者としてアンガーマネジメントの力を身に着ける。生徒自らが目的意識を持って練習に取り組むように支援する。「明るく・楽しい」練習を目指す。

(4) 生徒間の暴力禁止

感情をコントロールする力、チームメイトに真心をつくして接する態度を身に着ける。

(3) 外部指導員の活用

なし

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画をたてる。

(5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

咳エチケット、手指消毒に加え、「3密」を避ける身体的距離を確保する。また、練習前後での手洗いうがいの徹底や水筒持参など感染対策の徹底を図る。

5 大会等の主な記録

令和4年度	夏季大会 Nブロック準優勝 新人大大会 5回戦進出 都ベスト 32 シード権獲得
令和5年度	関東大会予選 4回戦進出 都ベスト 64 シード権獲得 インターハイ都予選 4回戦進出 都ベスト 64 シード権獲得 新人大大会 4回戦進出 都ベスト 64 シード権獲得
令和6年度	関東大会予選 4回戦進出 都ベスト 64 シード権獲得 インターハイ都予選 4回戦進出 都ベスト 64 シード権獲得 新人大大会 4回戦進出 都ベスト 64 シード権獲得 府中大会優勝

6 今年度の参加予定大会

大会名	日付
① 関東予選	4月14日～5月5日
② インターハイ予選	5月12日～6月23日
③ 夏季大会	8月20日～23日
④ 新人大大会	11月3日～1月21日

7 部員数

	男子	女子	合計
1年	0	8	8
2年	0	6	6
3年	0	4	4
合計	0	18	18

8 主な年間計画

学 期	月	内 容	ま と ま っ た休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	関東予選		6 日
	5	関東予選 インターハイ予選	中間考査期間 5/13～23	8 日
	6	インターハイ予選	期末考査期間 6/23～7/3	8 日
	7	夏期合宿		
	8	夏季大会	8/16～19	6 日
2 学期	9	府中大会		6 日
	10	都立研修大会	中間考査期間 10/9～21	8 日
	11	新人大会	期末考査期間 11/25～12/5	8 日
	12	全国高等学校バスケットボール選手権大会 (ウインターカップ)	年末 12/28～31	5 日
3 学期	1	新人大会	年始 1/1～3 入選期間	7 日
	2	通常の練習および練習試合	入選期間	7 日
	3	春季休業中 強化練習ゲーム	学年末考査期 間 2/23～3/5	8 日

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

令和7年度合唱部の指導方針等について

令和7年5月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
顧問	横井 明子	藤井 達也	東京芸大卒。ボイストレーナー	月に5回
顧問	田口 佳世子			
顧問	宮下 透			

2
年間
目標
(1)
学 校
の 教

育目標を受けた目指す生徒像

「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。

(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標

コンクールにおいては全国大会出場をめざし、全員で精一杯努力をする。

3月の定期演奏会が、内容面でも精神面でも満足して終われるように、日々の活動を行っていく。

(3) 地域貢献等の特色ある目標

地域交流のための行事等には、積極的に参加し、運営の一端も担う。

3 指導方針

(1) 部活動の質と量の工夫

練習時間は、平日2時間、休日は午前3時間とする。

(2) 休養日は原則として年平均、週当たり2日設ける。さらに定期考査1週間前や、定期考査期間中は、公式戦等の日程との重なりがある場合を除き、活動は行わない。

(3) 活動場所は本校音楽室を中心に行く。

(4) 練習や試合等の計画

練習は練習責任者を中心に計画的に質の高いものが行われるようにする。

(5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成

挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。

(6) 生徒相互の人間関係

チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。

(7) 学習と部活動

学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により、問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 大会等の主な記録

令和4年度

NHK 全国学校音楽コンクール東京都本選銀賞、全日本合唱コンクール全国大会銀賞

令和5年度

NHK 全国学校音楽コンクール東京都本選銀賞、全日本合唱コンクール全国大会銀賞
令和6年度

NHK 全国学校音楽コンクール東京都本選銀賞、東京都合唱コンクール金賞

6 年間計画

学 期	月	内容
1 学期	4	新入生歓迎行事・体験入部
	5	新入生歓迎会
	6	第1回独唱会（バルトホール）
	7	NHKコンクール東京都予選
	8	NHKコンクール東京都本選
2 学期	9	文化祭、NHKコンクール関東甲信越ブロック大会、東京都合唱コンクール
	10	府中市民合唱祭、全日本合唱コンクール全国大会
	11	第9地区大会
	12	府中第9、第2回独唱会
3 学期	1	高文連中央大会
	2	校内合唱コンクール、春こん
	3	第41回定期演奏会

令和7年度 男子硬式テニス部の指導方針等について

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	木須 史彦			
副顧問	川北 香夏			
副顧問	古橋 竜哉			
副顧問	池田 寛子			
副顧問				

2 年間目標

- (9) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養う。
- (10) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
高体連の大会をはじめ各種大会での予選突破を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域交流を積極的に図るため、地域への施設開放を行う。

3 指導方針

- (6) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）
生徒の自主的・自発的な参加を基本とする。活動日は平日4日、休日1日とし、練習時間は平日2時間程度、休日及び長期休業中は3時間程度を基本とし、合理的でかつ効率的・効果的な活動を短時間で集中して行う。
- (2) 休養日
平日1日、休日1日の週当たり2日を休養日とする。また定期考査1週間前及び定期考査期間中は、公式戦日程等との重なりがある場合を除き休養期間とする。なお、日曜日に大会参加等で活動した場合は、基本的に月曜日を休養日に振り替える。
- (11) 活動場所
テニスコート
- (12) 練習や試合等の計画
競技力を高めるために、三か月に1～2回他校と練習試合を行う。また、部内戦を定期的に行う。
- (13) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、本校の生徒として当たり前の行動をとらせる。
- (14) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。
- (8) 熱中症防止対策
適切に休憩をとらせ、こまめに水分・塩分補給させるとともに、体調の悪い時、湿度の高い時、急に暑くなった時などは無理をさせないように指導する。
- (9) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
日常の活動内での健康管理を継続的に行うとともに、体調不良の際は活動を見合わせ

るように指導する。

4 指導内容・方法

(5) 体罰・暴言等のない指導

体罰・暴言等のない適切な指導を行うことについて、顧問・外部指導員・生徒及び保護者の間で共通理解を図る。

(6) 生徒間の暴力禁止

すべての生徒間で暴力による問題解決を図ることがないように、日頃から指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割分担について基本的な考えを示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達段階及び体力・健康・技能等の状況を把握した上で、段階的に適切な活動計画を立てる。

(5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

活動後の手指消毒を実施し、咳エチケットを継続する。部室を使用する場合は、十分換気を行い、滞在時間を短時間にとどめさせる。

5 大会等の主な記録（令和6年度）

東京都高等学校新人テニス選手権大会（個人戦）シングルス2回戦進出

東京都高等学校新人テニス選手権大会（個人戦）ダブルス2回戦進出

6 今年度の主な参加予定大会

大 会 名	日 程
① 東京都高等学校テニス選手権大会（個人戦）	4 月
② 東京都高等学校テニス選手権大会（団体戦）	5 月
③ 都立対抗テニス大会（団体戦）	7 月
④ 東京都高等学校新人テニス選手権大会（個人戦）	9 月
⑤ 東京都高等学校新人テニス大会（団体戦）	11 月
⑥ 東京都立高等学校テニス選手権大会（個人戦）	12 月

7 部員数

	男子	女子	合計
1年	0	0	0
2年	5	0	5
3年	3	0	3
合計	8	0	8

8 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数

1 学期	4	生徒会部活動紹介 テニス専門部総会（顧問:オンライン参加） 東京都高等学校テニス選手権大会（個人戦）	中間考査期間 5/13～5/22	
	5	東京都高等学校テニス選手権大会（団体戦）	期末考査期間 6/23～7/2	
	7	都立対抗テニス大会（団体戦）	夏季休業 8/12～8/15	1 2 日程度
	8	夏季休業中 練習及び練習試合		
2 学期	9	東京都高等学校新人テニス選手権大会（個人戦）	中間考査期間 10/7～10/20	
	11	東京都高等学校新人テニス大会（団体戦）	期末考査期間 11/25～12/4	
	12	冬季休業中 練習及び練習試合 東京都立高等学校テニス選手権大会（個人戦）	年末年始 12/28～1/4	1 4 日程度
3 学期	3	春季休業中 練習及び練習試合	学年末考査期間 2/20～3/4	9 日程度

※（備忘録）合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載すること。

令和6年度 茶華道部の指導方針等について

令和7年 4月25日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	尾本 由香里	土屋 宗理	裏千家準教授	月 2 回程
副顧問	杉浦 桃子	橋本 美知子	池坊常任委員	月 1 回程
副顧問	塚原 葉子			

2 年間目標

- (15) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
自他を敬愛し、思いやりの心と規範意識を育成する。
- (16) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
高等学校文化連盟茶道部間主催の行事に参加する。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域の人材を指導者として迎えると共に地元主催の呈茶などの手伝いをする。

3 指導方針

- (7) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）
平日（週二回程度） 15:30～17:00 または 17:30
- (2) 休養日
上記以外
- (17) 活動場所
B棟 3F 和室（茶道）・書道室（華道）
- (18) 練習や試合等の計画
東京都高等学校文化連盟茶道部門主催の茶会への参加
（年間で大きい茶会が数回、その他ワークショップ等）
- (19) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
身だしなみを整え、挨拶のできる姿勢を育成する。
- (20) 生徒相互の人間関係
帰属意識を持たせ、協調性を養う。
- (7) 学習と部活動
主体的に学習する態度を培い、部活動との両立を目指す。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策
外部指導員と確認しながら感染防止対策を随時検討する。道具の使いまわしを避け、衛生環境を整える。

4 指導内容・方法

(7) 体罰・暴言等のない指導

顧問、外部指導員、生徒で体罰、暴言のない指導について共通理解を図る。

(8) 生徒間の暴力禁止

本来のお茶の心得を会得し、日頃から指導する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員の役割を明確にすると共に、共通理解を図り指導をする。

(4) 事故防止・安全配慮

火を扱うことや、食品として口に含むものを扱っていることを普段から十分に意識できるように指導する。

(5) 新型コロナウイルス感染防止対策

外部指導員と確認しながら感染防止対策を随時検討する。道具の使いまわしを避け、衛生環境を整える。

5 大会等の主な記録

令和元年度	高文連茶道部門生徒リーダー研修会参加 東京国立博物館主催「銘々皿の絵付け」に参加 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 1000 日前イベント参加 高文連茶道部門中央大会 「冬の茶会」参加(東京国立博物館)
令和2年度	高文連茶道部門中央大会 「冬の茶会」 新型コロナウイルス感染症拡大のため、オンラインにて参加
令和3年度	第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 関プレ大会 参加
令和4年度	第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 事前研修会 参加 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 参加
令和5年度	文化祭にて呈茶 文化祭および学校説明会等 花の展示
令和6年度	文化祭にて呈茶 文化祭および学校説明会等 花の展示 高文連茶道部門中央大会 「冬の茶会」

6 今年度の参加予定大会

大会名	日付
東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会	12月下旬

7 部員数

	男子	女子	合計
1年	0名	1名	1名
2年	0名	13名	13名
3年	0名	2名	2名
合計	0名	16名	16名

8 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	一斉部会	中間考査期間	
	5	高文連総会		
	6			
	7	茶道部門生徒リーダー研修会 東京国立博物館ワークショップ 東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会「冬 の茶会」事前研修会	期末考査期間	
	8	全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演お 手伝い参加 文化祭向け練習		
2 学期	9	文化祭（呈茶）花の展示	中間考査期間	
	10	東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会 「冬の茶会」事前研修会 東京大茶会		
	11	学校説明会等 花の展示（3回予定）	期末考査期間	
	12	東京都高等学校文化祭茶道部門中央大会 「冬の茶会」		
3 学期	1	卒業記念茶会	学年末考査期間	
	2			
	3			

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

令和7年度 漫画研究部 部の指導方針等について

令和7年4月25日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	植野 真粧美			
副顧問	町田 法生			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (21) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
高い目的意識と強い行動力をもって、日々努力を重ねる
- (22) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
文化祭出品等を目指して、作品発表の準備を進める
- (3) 地域貢献等の特色ある目標

3 指導方針

- (8) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）
活動は原則週3日間（月・水・金）とし、活動時間は2時間程度とする。
- (2) 休養日
上記活動日を除き原則休養日とする。
但し、文化祭準備期間については、部員と相談し健康面に配慮し決定する。
- (23) 活動場所
3階 書道室
- (24) 練習や試合等の計画
イラストや漫画の技術面だけでなく、一般的教養をも身につけることに
より総合的な漫画力の向上を心がける
- (25) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉づかい、自ら進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模
範となるようにする
- (26) 生徒相互の人間関係
協調性や責任感を涵養する
- (7) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保する

(8) 新型コロナウイルス等感染症防止対策

日常の活動において、状況に応じて必要な対策を行う。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

行き過ぎた指導のない部活動を展開していく

(2) 生徒間の暴力禁止

上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する

(3) 外部指導員の活用

部員自らが研究し、自己の内的欲求の正しい表現手段を探求するため現在には必要としていない。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画をたてる

5 大会等の主な記録

特に無い

6 今年度の参加予定大会 特に無い

大 会 名 日 付

①

②

③

7 部員数

	男子	女子	合計
1年	1	5	6
2年	0	9	9
3年	1	5	6
合計	2	19	21

8 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	生徒会部活動紹介		0 日
	5	基礎画力の鍛錬	中間考査期間	0 日
	6	基礎画力の鍛錬		0 日
	7	基礎画力の鍛錬 漫画構成の練習 読書	期末考査期間	0 日
	8	文化祭準備 部誌の原稿作成		0 日
2 学期	9	文化祭 部誌の発行	中間考査期間	0 日
	10	画力の向上練習		0 日
	11	画力の向上練習	期末考査期間	0 日
	12	卒業記念画集の作成準備	年末 12/28~12/31	0 日
3 学期	1	卒業記念画集の作成準備	年始 1/1~1/3	0 日
	2	卒業記念画集の作成準備	入選期間	0 日
	3	卒業記念画集の発行 新入生受入準備	入選期間 学年末考査期間	0 日

令和7年度 硬式野球部の指導方針等について

令和7年4月22日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	坂本 瑞樹	小川 泉	指導歴多数	随時
副顧問	平原 敬大			
副顧問	吉田 元			
副顧問	本城 恵太			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
甲子園出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
定期的に地域の清掃活動を行い、地域貢献に努める。

3 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）
練習は、原則週に6日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間程度を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 休養日
毎週火曜日を休養日にあてる。試験1週間前から試験終了前日までは、学業に専念させる。7月22日から7月25日、12月26日から1月5日までは完全休養とする。
- (3) 活動場所
基本的に学校のグラウンドで活動、練習試合は他校に行って実施することもある。
- (4) 練習や試合等の計画
月に6～8回程度、競技力を高めるため強豪チームと練習試合を行う。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (6) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 大会等の主な記録

平成 29 年度 夏季大会初戦敗退。秋季大会ブロック予選決勝進出。

平成 30 年度 春季大会都大会進出初戦敗退。夏季大会 3 回戦敗退。

秋季大会ブロック代表（9 年ぶり 2 回目）

秋季都大会進出

平成 31 年度 春季大会都大会進出初戦敗退。

夏季大会ベスト 16 進出。

令和 2 年度 夏季大会ベスト 32 進出。

令和 3 年度 夏季大会ベスト 32 進出。

第 15 回東村山カップ優勝

令和 4 年度 夏季大会 3 回戦進出

令和 6 年度 秋季大会ブロック代表（9 年ぶり 2 回目）

秋季都大会進出

第 18 回東村山カップ準優勝

6 今年度の参加予定大会

	大会名	日付	
①	夏季大会	7/5～	(6/14 抽選会)
②	秋季大会	9/6～	(8/27 抽選会予定)
③	秋季都大会（ブロック突破校）	10/11～	(10/6 抽選会)
④	春季大会	3/14～予	(3/1 抽選会予定)

7 部員数

	男子	女子	合計
1 年	12 人	0 人	12 人
2 年	7 人	4 人	11 人
3 年	5 人	0 人	5 人
合計	24 人	4 人	28 人

8 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまっ た休養日	週休日の 活動日数
1 学 期	4	野球部保護者会（4月27日） ／顧問紹介・指導方針の説明	4日	4日
	5		9日	2日
	6	夏季大会壮行会（6月22日）	8日	8日
	7	全国高校野球選手権大会西東京大会（7月5日～） 3年生引退試合	7日	10日
	8	夏季合宿（8月1日～8月5日）	5日	8日
2 学 期	9	秋季大会 ブロック予選（24ブロック）	4日	8日
	10	秋季大会 都大会（64チーム）	13日	4日
	11		7日	8日
	12	アウト・オブ・シーズン（3月第1週まで、練習 試合禁止期間） 基礎体力強化練習 野球部保護者会納会 冬季休業中強化練習	10日	4日
3 学 期	1	アウト・オブ・シーズン（3月第1週まで、練習 試合禁止期間） 基礎体力強化練習 冬季休業中強化練習	9日	6日
	2	アウト・オブ・シーズン（3月第1週まで、練習 試合禁止期間） 基礎体力強化練習	8日	6日
	3	アウト・オブ・シーズン（3月第1週まで、練習 試合禁止期間） 三送会（卒業式の日） 春季大会 ブロック予選 吹奏学部定期演奏会 応援	9日	8日

令和7年度 剣道部の指導方針等について

令和7年4月28日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	荒木 卓也	渡邊 明彦	剣道教士七段	
副顧問	澤 陽子			
副顧問	清水 承子			
副顧問				

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
高い目的意識と自ら実践する強い行動力で目標達成にむけ努力を継続する。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
試合・審査等において自分自身を最大限発揮できるように日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
府中市民剣道大会等の準備役員として活動する。

3 指導方針

- (1) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）
原則5日間とし、活動時間は平日2時間程度、週休日及び長期休業中は、3時間程度とする。
- (2) 休養日
月・木・日曜日 *大会前等、月曜日に稽古を実施する時がある。
- (3) 活動場所
武道棟（剣道場）
- (4) 練習や試合等の計画
月1回程度、連休・長期休業等に集中して練習試合を行う。
- (5) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉使い、自ら進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (6) 生徒相互の人間関係
対人競技ではあるが、試合等では団体戦が多いことから、協調性や責任感を養う。
- (7) 学習と部活動
部活動と学習の両立を図るため、原則、日曜日は休養日として、家庭学習の時間を確保できるようにする。
- (8) 感染症防止対策
剣道具着装時は面シールド、マスクのどちらかを着用する。・手指の消毒は必要に応じて取り組む。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

(5) 感染防止対策

稽古時では面シールドまたはマスクを着用する。大会時、会場内ではマスクの着用を推奨する。

5 大会等の主な記録

令和4年度	全国大会都予選男子個人1名出場 ベスト32 府中市民剣道大会男子個人2段以下の部 準優勝
令和5年度	東京都春季剣道大会男子団体出場 全国大会都予選男子団体出場 剣道三段 2名合格
令和6年度	東京都春季剣道大会男子団体出場 東京都秋季剣道大会男子団体Ⅱ部 第3位 剣道初段1名・二段1名・三段2名合格

6 今年度の参加予定大会

4月	26日(日)	東京都春季剣道大会兼関東大会予選男子団体
5月	10日(土)	関東大会予選男子個人
	19日(日)	全国高等学校剣道大会第4支部予選男子団体個人
6月	14日(土)	全国高等学校剣道大会都予選男女個人
	22日(日)	全国高等学校剣道大会都予選男女団体
	29日(日)	東京都高体連剣道専門部段級位審査会
10月	25日(土)	東京都秋季剣道大会女子団体
11月	1日(土)	東京都秋季剣道大会男子団体
	未定	東京都高体連剣道専門部第4支部剣道大会
12月	未定	東京都高体連剣道専門部新人剣道大会第4支部予選
1月	17日(日)	東京都新人剣道大会

7 部員数

	男子	女子	合計
1年	4	2	6
2年	5	0	5
3年	2	1	3
合計	11	3	14

8 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	高体連剣道専門部総会 生徒会部活動紹介	春季休業	3 日
	5	関東剣道大会男子団体戦都予選 全国剣道大会個人・団体支部予選 全国剣道大会個人都予選	中間考査期間 5/13～5/23	9 日
	6	全国剣道大会団体都予選 剣道段位審査会 夏季剣道錬成大会	期末考査期間 6/23～7/3	3 日
	7	夏季錬成会 合同稽古・練習試合等	大会後 8/20～8/28	4 日
	8	合同稽古・練習試合等 秋季剣道大会	夏季休業	4 日
2 学期	9	文化祭役割分担	陽光祭準備	4 日
	10	府中市民剣道大会	中間考査期間 10/9～10/20	4 日
	11	一級審査会 第4支部剣道大会	期末考査期間 11/25～12/4 年末	4 日
	12	国公立剣道大会 新人剣道大会支部予選 冬季錬成大会		4 日
3 学期	1	新人剣道大会都予選	年始 1/1～4 入選 1/23～27	4 日
	2	剣道部寒稽古 段位審査会	入選 2/20～25 学年末考査期間 2/23～3/5	4 日
	3	増田杯剣道錬成大会 春季錬成会 全国拓高旗剣道大会 全国柴田旗剣道大会	春季休業	4 日

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

令和7年度 美術部の指導方針等について

令和7年4月28日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	町 田 法 生			
副顧問	澤 陽 子			
副顧問	井 野 由 香			

2 年間目標

- (27) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
美術に触れることを通じて「心と体の基礎力を培う」べく、日々積極的に活動に取り組む。
- (28) 競技大会等の目標
中央展、黑板アート甲子園での入賞を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域の美術館へ積極的に足を運び、そこでの学びを日々の制作に還元する。

3 指導方針

- (9) 動日及び活動時間（平日、週休日等）
活動は、原則週に3日間とし、活動時間は、平日は原則2時間程度とする。
週休日及び長期休業中の1回の活動は、原則3時間程度とし、午前午後共に活動する際は、間に十分な休憩時間をとる。合理的で効率的、効果的な活動を行う。
- (2) 休養日
週4日（土日含む）
- (29) 活動場所
美術室
- (30) 練習や試合等の計画
12月の中央展、9月の黑板アート甲子園に向けて制作をする。
- (31) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、言葉遣いに注意し、活動後の清掃に努める。
- (32) 生徒相互の人間関係
展示等での共同作業を通じて、協調性をはぐくみ部の活動が円滑に行えるようにする。
- (7) 学習と部活動
学習と部活動の両立を意識して学校生活を送るようにする。
- (8) 感染症防止対策
制作活動において、十分な間隔を開けて行い、定期的に換気をする。

4 指導内容・方法

- (9) 体罰・暴言等のない指導
顧問・生徒・保護者の間で適切な指導について共通理解を図り、体罰・暴言は

もちろん、乱暴な言葉遣いはしないよう指導する。

(10) 生徒間の暴力禁止

日頃からどんなことでも会話によって問題解決を図るよう指導していく。

(3) 外部指導員の活用

今年度はなし

(4) 事故防止・安全配慮

電動工具、刃物を使用する際は顧問が立ち会う。環境整備を徹底する。

(5) 新型コロナウイルス感染症防止対策

密にならないよう間隔を充分に開けて制作させる。活動後の用具類の除菌。

常時喚起、不織布マスク着用、活動前後の手指消毒。

5 大会等の主な記録

令和4年度 高等学校文化連盟美術工芸部門中央展参加（東京都美術館に作品展示）

令和5年度 高等学校文化連盟美術工芸部門中央展参加（東京都美術館に作品展示）

令和6年度 高等学校文化連盟美術工芸部門中央展参加（東京都美術館に作品展示）

6 今年度の参加予定大会

	大 会 名	日 付
①	高等学校文化連盟美術工芸部門中央展	12 月
②	黒板アート甲子園	9 月

7 部員数

	男子	女子	合計
1 年	4	3	7
2 年	1	2	3
3 年	2	7	9
合計	7	12	19

8 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった休 養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	鉛筆デッサンの基本技術の習得 個人制作	考查期間 5/13-5/23	0
	5	油絵の基本技術の習得 個人制作	考查期間 6/23-7/3	
	6	校内展示作品の制作	夏季休業日 8/9-8/17	
	7	↓		
	8	美術館見学		
2 学期	9	校内展示 黒板アート甲子園出品作品の制作 中央展出品作品の制作	考查期間 10/9-10/21	3
	10	↓	考查期間 11/25-12/5	
	11	高等学校文化連盟美術工芸部門 中央展参加	冬季休業日 12/25-1/7	
	12			
3 学期	1	個人制作 ↓	入試、考查期間 2/20-3/5	0
	2	壁画制作	春季休業日	
	3			

令和7年度 女子硬式テニス部の指導方針等について

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	川北 香夏			
副顧問	木須 史彦			
副顧問	塚原 葉子			
副顧問	陳 寿美			
副顧問				

2 年間目標

- (33) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養う。
- (34) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
高体連の大会をはじめ各種大会での予選突破を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域交流を積極的に図るため、地域への施設開放を行う。

3 指導方針

- (10) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）
生徒の自主的・自発的な参加を基本とする。活動日は平日3日、必要に応じて休日1日とし、練習時間は平日2時間程度、休日及び長期休業中は3時間程度を基本とし、合理的かつ効率的・効果的な活動を短時間で集中して行う。
- (2) 休養日
平日2日、休日1日の週当たり3日を休養日とする。また定期考査1週間前及び定期考査期間中は、公式戦日程等との重なりがある場合を除き休養期間とする。大会が日曜にあることが多いため、長期休業日や祝日等で振替とすることもある。
- (35) 活動場所
テニスコート
- (36) 練習や試合等の計画
競技力を高めるために、学期に1～2回他校と練習試合を行う。また、部内戦を定期的に行う。
- (37) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、本校の生徒として当たり前の行動をとらせる。
- (38) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (11) 体罰・暴言等のない指導
体罰・暴言等のない適切な指導を行うことについて、顧問・外部指導員・生徒及び保護者の間で共通理解を図る。

- (12) 生徒間の暴力禁止
すべての生徒間で暴力による問題解決を図ることがないよう、日頃から指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割分担について基本的な考えを示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達段階及び体力・健康・技能等の状況を把握した上で、段階的に適切な活動計画を立てる。
- (5) 体調管理・感染症拡大防止対策
手洗い・うがいを徹底させ、日頃より体調管理をするよう指導する。

5 大会等の主な記録

令和4年度 インターハイ予選シングルス4回戦進出
ダブルス5回戦進出
新人戦シングルス4回戦進出
新人戦ダブルス5回戦進出
都立高テニス選手権大会 シングルス ベスト16
第43回フジカップ シングルス 優勝

令和5年度 新人戦シングルス3回戦進出
ダブルス2回戦進出
団体1回戦進出
都立高テニス選手権大会シングルス2回戦進出

6 今年度の主な参加予定大会

大会名	日程
⑦ 東京都高等学校テニス選手権大会（個人戦）	4 月
⑧ 東京都高等学校テニス選手権大会（団体戦）	5 月
⑨ 都立対抗テニス大会（団体戦）	6 月
⑩ 東京都高等学校新人テニス選手権大会（個人戦）	9 月
⑪ 東京都高等学校新人テニス大会（団体戦）	11 月
⑫ 東京都立高等学校テニス選手権大会（個人戦）	1 月

7 部員数

	男子	女子	合計
1年	0	4	4
2年	0	3	3
3年	0	0	0
合計	0	7	7

8 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数

1 学期	4	生徒会部活動紹介 テニス専門部総会および指導者講習会 (オンライン) 東京都高等学校テニス選手権大会 (個人戦)	中間考査期間 5/13~5/22 期末考査期間 6/23~7/2	7 日程度
	5	東京都高等学校テニス選手権大会 (団体戦)	夏季休業	
	6	都立対抗テニス選手権大会 (団体戦)	8/9~8/17	
	8	夏季休業中 練習及び練習試合		
2 学期	9	東京都高等学校新人テニス選手権大会 (個人戦)	中間考査期間 10/10~10/21	8 日程度
	11	東京都高等学校新人テニス大会 (団体戦) 東京秋季庭球選手権大会 (団体戦)	期末考査期間 11/25~12/4	
	12	冬季休業中 練習及び練習試合	年末年始 12/27~1/4	
3 学期	1	東京都立高等学校テニス選手権大会 (個人戦)	学年末考査期間 2/21~3/5	3 日程度
	3	春季休業中 西東京庭球大会 (団体戦) 練習及び練習試合		

令和7年度男子バスケットボール部の指導方針等について

令和7年5月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	立花 大和			
副顧問	宮原 俊夫			
副顧問	都竹 もみの			
副顧問	須藤 美枝			

2 年間目標

- (39) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協調の精神を養う部活動」を取り組み目標とする。
- (40) 競技大会等の目標
東京都高等学校体育連盟の公式戦東京都ベスト16を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域の中学生との合同練習試合や練習試合、体験入部を行う。

3 指導方針

- (11) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）
練習は原則週に5日間とする。月・水曜日は体育館が使用できるので2時間半程度の練習。火・金曜日は、2時間程度の練習。また体育館での練習だけでなく、ウェイトトレーニングも日々行う。
- (2) 休養日
平日：金曜日 休日：土曜日または日曜日
- (41) 活動場所
体育館及びトレーニング室で行う。
- (42) 練習や試合等の計画
1週間に1回程度、モチベーションを持続させると共に、競技力を高めるために練習試合を行う。
- (43) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んでリーダーシップが取れ他の生徒の模範となるようにする。
- (44) 生徒相互の人間関係
チームプレーを通じて、協調性や責任感を涵養する。
- (7) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭や学校での学習時間を確保する。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策
対外に出る場合及び公式戦時は、健康観察表及び保護者の同意書の提出を徹底する。また、こまめな手洗いをし、共用物は消毒を徹底して行う。

4 指導内容・方法

(13) 体罰・暴言等のない指導

体罰，暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際，体罰関連行為のガイドラインを活用し，顧問・生徒・保護者の三者で体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(14) 生徒間の暴力禁止

生徒間で暴力により問題解決を図ることのないよう，日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

特になし。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 新型コロナウイルス感染症防止対策

咳エチケット、手指消毒に加え、練習前後での手洗いうがいの徹底を図る。

6 今年度の参加予定大会

大会名	日付
⑤ 関東予選	4月13日～5月5日
⑥ インターハイ予選	5月11日～6月22日
⑦ 102地区大会（府中大会）	
⑧ 新人大会	10月19日～1月18日

7 部員数

	男子	女子	合計
1年	14	3	17
2年	7	0	7
3年	4	3	7
合計	25	6	31

6 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった休養日	週休日の活動日数
1 学期	4	関東予選	中間考查期間	6 日
	5	インターハイ予選		8 日
	6	通常の練習および練習試合	期末考查期間	8 日
	7	通常の練習および練習試合		6 日
	8	夏合宿(群馬県) 102 地区大会(府中大会)		14 日程度
2 学期	9	通常の練習および練習試合	中間考查期間	6 日
	10	新人選支部予選		6 日
	11	新人選支部予選	期末考查期間	6 日
	12	通常の練習および練習試合		16 日程度
3 学期	1	通常の練習および練習試合	入選期間	7 日
	2	通常の練習および練習試合	入選期間	7 日
	3	通常の練習および練習試合	学年末考查期間	14 日程度

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

令和 7 年度 軽音楽部の指導方針等について

令和 7 年 5 月 1 日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	迎臨太朗	福嶋涼介	本校卒業、音楽系の専門	週 1
副顧問	栗田恵利子			
副顧問	山崎太郎			
副顧問	重野剛志			

2 年間目標

- (4 5) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
集団生活における帰属意識や協働、協調、自立の精神を持つ。
- (4 6) 競技大会、コンクール
高文連軽音楽コンテスト決勝出場及びバンドフェスティバル予選突破。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
高文連大会運営の補助役員として活動する。

3 指導方針

- (1 2) 活動日及び活動時間（平日）
練習は原則平日 5 日間、練習は 2 時間。休日は原則として練習しないが、適宜、演奏発表会、大会出場、特別練習等を行う。
- (1 3) 休養日
バンド単位の練習であるため、毎週火曜日の全体練習および週 1 回のバンド練習の活動が中心である。これら以外の日に 1 日以上、休日に 1 日以上を休養日とする。
- (4 7) 活動場所
3 学年の教室を 4 教室使用している。
- (4 8) 練習や試合等の計画
6 月中旬予定の 1 年生課題曲(あいみよんの「マリーゴールド」等)発表会に向けて 1 年生バンドに上級生が教える等、軽音楽部の特質を活かし部員一人一人の責任感と役割分担を意識させて活動させる。大目標に大会出場を設定し、オリジナル曲の制作に挑戦する。その準備として、火曜日のパート別練習では上級生が中心になって技術や知識の伝達をする。
- (4 9) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
活動時の練習時間、後片付け状況の報告等を日常的に確実に行わせる。
出欠を取る。
- (5 0) 生徒相互の人間関係
バンド活動を通して他人と協調する力を養わせる。
- (5 1) 学習と部活動
遅刻等により部活動だけのために登校することを禁ずる。成績不良部員への活動制限等を行う。

4 指導内容・方法

- (1 5) 体罰・暴言等のない指導
体罰関連行為のガイドラインに基づき、体罰、暴言のない指導に当たる。
- (1 6) 生徒間の暴力禁止
特別指導等を受ける生徒の活動を禁止する。
- (3) 外部指導員の活用

専門的な技術を持つ卒業生の演奏及び技術指導を活用する。また、顧問と外部指導員の共通理解のもと、連携して指導する。

5 大会等の主な記録

平成27年度 第8 東京都高等学校軽音楽コンテスト 特別賞
 第3 回全国高等学校軽音楽コンテスト 奨励賞
 高校生ライブ MUSIC DAYS 2015 東京大会出場 特別賞
 平成28年 第1 回ガールズバンドステージコンテスト 決勝出場
 平成29年度 第10 回東京都高等学校軽音楽コンテスト決勝大会 優秀賞
 第2 回ガールズバンドステージコンテスト 決勝出場
 令和2年度 第13 回東京都高等学校文化祭 軽音楽部門大会東京都高等学校対抗バンド
 フェスティバル出場
 全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル 2020 冬の陣出場
 令和3年度 第1 回全国高校 軽音楽部大会 関東甲信越地区予選会出場
 高校生ライブ MUSIC DAYS 2021 予選出場
 第14 回東京高等学校軽音楽コンテスト予選出場
 令和5年度 第2 回高校軽音部大会「スニーカーエイジ」オリジナルコンテスト 予選出
 場
 令和6年度 高校生ライブ MUSIC DAYS 2024 予選出場

6 今年度の参加予定大会

高校生ライブ MUSIC DAYS 東京大会
 高等学校軽音楽コンテスト関東大会
 ガールズバンドステージコンテスト高校生大会
 令和7年度 東京都高等学校軽音楽コンテスト
 令和7年度 東京都高等学校文化祭軽音楽部門大会

7 部員数

	男子	女子	合計
3 年	12	7	19
2 年	20	10	30
1 年	6	29	35
計	38	46	84

8 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった休養日	週休日の活動日数
1 学期	4	仮入部ライブ 仮入部期間終了・正式入部 全体 MTG、仮バンド結成（1 年のみ）	中間考査 (5/13-5/22)	
	5			
	6	新入生課題曲ライブ	期末考査 (6/23-7/2)	
	7	学期末ライブ・全体 MTG		

2 学期	9	文化祭 本バンド結成	中間考査 (10/9-20)	
	10	ハロウィンライブ		
	11			
	12	学期末ライブ・全体 MTG	期末考査 (11/25-12/4)	
3 学期	1	新年ライブ	一般入試・学年末考査 (2/15-3/4)	
	2			
	3	三送会ライブ・全体 MTG		

令和7年度 バドミントン部の指導方針等について
令和7年5月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名	
主顧問	栗田 恵利子
副顧問	杉浦 桃子
副顧問	平原 敬大
副顧問	福井 妙子

2 年間目標

- (5 2) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「輝く部活動」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する主体性をもって日々努力を重ねる。
- (5 3) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
ブロックでの優勝、都大会出場を目指して努力する。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域への施設開放等の活動を行う。

3 指導方針

- (1 4) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）
練習は原則週に5日間とし、練習時間は平日2時間、休日3時間半を基本とする。練習は意識を高く持ち、短時間に集中して行う。
- (2) 休養日
基本的に平日に1日、週休日に1日とする。
- (5 4) 活動場所
本校体育館及び校舎外周り
- (5 5) 練習や試合等の計画
2か月に1回程度他校との練習試合を組む。
- (5 6) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、模範となる言行を実践する。
- (5 7) 生徒相互の人間関係
上級生からの命令・強制のないようにする。初心者も経験者も他者を思いやる気持ちをもたせる。
- (7) 学習と部活動
学習との両立を図るために、学習時間の確保を心がける。
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策
密集、密接、密閉を避け、手洗いの励行をする。

4 指導内容・方法

(17) 体罰・暴言等のない指導

体罰関連行為ガイドラインを活用し、体罰・暴言のない指導を実践する。

(18) 生徒間の暴力禁止

部活動の生徒に対して、上級生から下級生、同級生同士で暴力行為のないように指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員との間で連携を密に取り、共通理解をもって指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術を適切に把握して指導を行う。

(5) 新型コロナウイルス感染防止対策

体育館内の換気に努める。手洗い、手指消毒の指導を行う。

5 大会等の主な記録

令和5年度

東京都高等学校体育連盟主催 各大会に出場（年間8回）

6 今年度の参加予定大会（団体のみ）

大会名	日付
① 関東予選	4月20日～4月29日
② インターハイ予選	6月1日～6月22日
③ 新人大会	10月26日～11月23日
④ 冬季ブロック大会	1月11日～1月18日
⑤ 国公立大会	2月

7 部員数

	男子	女子	合計
1年	8	10	18
2年	11	9	20
3年		11	11
合計	19	30	49

8 主な年間計画

学 期	月	内 容	ま と ま っ た休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	生徒会部活動紹介 東京都高等学校体育連盟春季バドミントン大会		4 日
	5	東京都高等学校総合体育大会（個人）	中間考査期間 5/20～5/23	4 日
	6	東京都高等学校総合体育大会（団体）		4 日
	7		期末考査期間 6/30～7/3	3 日
	8	夏季休業中 練習 東京都高等学校バドミントン新人戦Ⅰ部大会（個人）		4 日
2 学期	9	東京都高等学校バドミントン新人戦Ⅰ部大会（個人）		4 日
	10		中間考査期間 10/16～10/21	4 日
	11	東京都高等学校バドミントン新人大会（団体）		4 日
	12	冬季休業中 練習	期末考査期間 12/2～12/5 年末 12/28～12/31	3 日
3 学期	1	東京都高等学校バドミントン冬季ブロック大会（団体）	年始 1/1～1/3	4 日
	2	国公立大会（団体）	入選期間 1/23～1/27 入選期間 2/20～2/25	4 日
	3	東京都高等学校バドミントン新人戦Ⅱ部大会（個人） 春季休業中 練習	期末考査期間 3/2～3/5	3 日

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

令和7年度 女子バレーボール部の指導方針等について

令和7年4月30日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	松谷 大吾			
副顧問	福井 妙子			
副顧問	尾崎 明			
副顧問	佐々木 輝			

2 年間目標

- (58) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
部活動を通して充実した高校生活を送る。
- (59) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
予選リーグ上位通過、一部大会2回戦以上進出。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域の中学生の練習受け入れ

3 指導方針

- (15) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）
月・水・木・金・土・（日） 3～4時間。
- (2) 休養日
週2日 火曜日と週末1日
定期考査1週間前や定期考査期間中は、公式戦日程との重なりがある場合を除き活動を停止する。
長期休業中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。又、合宿後や公式大会後等にも休養日を設ける。
- (60) 活動場所
体育館、校外、トレーニングルーム
- (61) 練習や試合等の計画
月に1回程度練習試合を行う。またローカル大会にも積極的に参加し、実戦を通して技術の向上を図る。
- (62) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行。練習計画の自立的作成。
- (63) 生徒相互の人間関係
学年間の秩序と親睦に気を配る。
- (7) 学習と部活動
切り替えのきちんとできる部活動を目指す。定期的に生徒の学習状況を確認する

4 指導内容・方法

- (19) 体罰・暴言等のない指導
体罰を指導上必要と考えないので、体罰をおこなうことはない。

指導において、感情的になることのないように、論理的・理論的な言葉おがけを行う。

(20) 生徒間の暴力禁止

内面的、精神的健康をはかる。生徒の表情に注意し、生徒の安全を守ることを優先する。

(3) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

熱中症の予防に努め、こまめな水分補給をおこなう。

5 大会等の主な記録

令和6年度 春季大会2部大会出場 夏季大会2日目進出 新人戦2部大会出場

6 今年度の参加予定大会

大 会 名	日 付
① 春季大会兼関東大会予選	4月20日
② 全日本高校選手権東京都予選	5月25日
③ 夏季大会	8月16日
④ 新人リーグ戦兼新人選手権予選	11月 2日

7 部員数

	男子	女子	合計
1年		10人	10人
2年		13人	13人
3年		8人	8人
合計		31人	31人

8 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
-----	---	-----	--------------	--------------

1 学期	4	基礎練習 新入生受け入れ 大会前チーム練習		4 日
	5	基礎練習 大会前チーム練習	考查期間 8 日	4 日
	6	3 年生引退 新チーム発足、基礎固め		4 日
	7	チーム作り、基礎練習 合同合宿実施（山梨県山中湖村）	考查期間 10 日	4 日
	8	ローカル大会・公式戦参加 チーム作り	夏季休業中 14 日	4 日
2 学期	9	練習試合 チーム練習	考查期間 10 日	
	10	練習試合 チーム練習	考 査 期 間 10 日	
	11	公式戦参加 チーム練習	年末 4 日	
	12	ローカル大会参加 練習試合		
3 学期	1	練習試合 チーム練習	年始 4 日	4 日
	2	公立校大会参加 チーム練習	考 査 期 間 10 日	4 日
	3	練習試合 チーム練習		4 日

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

令和7年度 サッカー部の指導方針等について

令和7年5月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	相馬 芳紀	敦賀 光太朗		
副顧問	本城 恵太			
副顧問	田中 貴浩			
副顧問	小池 巨			

2 年間目標

- (64) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「人間愛、自由、責任」を学校教育目標として、自らの役割を考え、一つ一つの練習に目的意識を持ちながら努力できる生徒を目指す。
- (65) 競技大会等の目標
大会予選ブロック決勝で勝利を目指し日々取り組んでいる。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
近隣の中学生向けに部活動体験を行う。また、府中市内の高校のサッカー部と交流を行い、市内のスポーツ活性化に努める。

3 指導方針

- (16) 部活動の質と量の工夫
練習は週5日程度、平日は2時間、休日は3時間とする。質の高い練習を短時間集中して行う。
- (17) 練習や試合等の計画
毎月、近隣高校との練習試合を行い、試合の中で課題を発見し、解決するために練習を行う。
- (18) 基本的な生活習慣や規範意識育成
挨拶、正しい言葉遣い、授業外と準備時間の切り替えができる生徒を目指す。
- (19) 生徒相互の人間関係
部活動を通じて協調性や思いやり、責任感の育成を図る。
- (20) 学習と部活動
学習と部活動の両立をさせるため、家庭での学習時間を確保するよう指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問・副顧問・外部指導員と指導についての共通理解を持ち、体罰・暴言のない指導を行う。
- (2) 生徒間の暴力禁止
暴力で物事を解決する事がなく、話し合いで解決が図れるよう日々の指導を徹底する。
- (3) コロナ対策
移動の時はマスクを着用するよう指導し、対外に出る場合及び公式戦時は、健康観察表及び保護者の同意書の提出を徹底する。また、共用物は、消毒を徹底して行う。

- 5 大会等の主な記録
- | | | |
|-------|--------|-------|
| 令和6年度 | 総体予選 | 2回戦進出 |
| | 選手権予選 | 3回戦進出 |
| | 新人戦予選 | 1回戦出場 |
| | ユースリーグ | 参戦中 |

- 6 今年度の参加予定大会
- ① インターハイ予選参加
- ② 選手権1次予選
- ③ 区新人選手権予選

7 部員数

	男子	女子	合計
1年	13	0	13
2年	10	0	10
3年	6	2	8
合計	29	2	31

8 主な年間計画

学 期	月	内 容
-----	---	-----

1 学期	4	一斉部会
	5	総体予選
	6	
	7	府中市交流戦 練習試合 OB 戦
	8	
2 学期	9	選手権支部予選
	10	練習試合
	11	地区新人戦
	12	練習試合
3 学期	1	練習試合
	2	練習試合
	3	練習試合 3 年生を送る会

令和 7 年度 体操部の指導方針等について

令和 7 年 5 月 7 日

1 指導体制

顧問教諭氏名		部活動指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	清水 咲樹	山口 恵子	部活動指導員 元府中西体操部顧問	週 2,3 回
副顧問	荒木 卓也	佐藤 賢元	部活動指導員 国士舘大学出身 指導歴 11 年	月 3 回
副顧問	野口 友輔	仁後 公衛門	府中市体操連盟理事長 指導歴 26 年	月 3 回
		外部指導員	資格等や経験	頻度
		村山 靖	柔道整復師 指導歴 16 年	月 1 回

2 年間目標

- (6 6) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「心と体の基礎力を培う」ことが出来るよう、高い目的意識と自ら実践する強い行動力を持つと同時に 思いやりと互いに助け合う心を持つ生徒
- (6 7) 競技大会等の目標
高体連主催の大会において、男女とも団体上位入賞を目指し、日々練習に取り組む。
文化祭での演技発表を成功させるべく、技術の向上を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域交流を図るため、他校生との合同練習会や小中学生の体験会を実施する。
- (4) 換気や手洗い、手指消毒など感染防止対策をしっかりと行い、安心・安全な活動を行う。

3 指導方針

- (2 1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週 5 日間とする。
練習時間は、平日 2 時間、休日 4 時間を基本とし、各自が長期目標・短期目標を設定し、意欲的に練習に取り組めるよう工夫する。
- (2 2) 練習や試合等の計画
他校との合同練習なども企画して、より広い視野をもって、練習に取り組むことができるようにする。互いに補助し合い、安全に練習できるように努める。
- (2 3) 基本的な生活習慣や規範意識育成
挨拶の励行・正しい言葉遣い・規則を守り他者を支えることが出来る人間になることを目指させる。
- (2 4) 生徒相互の人間関係
個人スポーツではあるが、一人では何一つ練習できないことを十分理解して

協調性や責任感を涵養する。

(25) 学習と部活動

学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携を取って指導する。また長期休業中は、練習の前後に学校で学習する時間を設定する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により、問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 大会等の主な記録

		大 会 名	結 果
令和元年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第2位
	都高体連	女子2年生大会	団体総合第1位
	都高体連	女子1年生大会	団体総合第4位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第3位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第3位
	都高体連	女子関東大会予選	団体総合第6位
令和2年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第2位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第3位
令和3年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第1位
	都高体連	女子3年生大会	団体総合第2位
	都高体連	女子2年生大会	団体総合第2位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第5位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第3位
令和4年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第4位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第3位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第4位

令和5年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第2位
	都高体連	女子1年生大会	団体総合第4位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第5位
	都高体連	女子秋季大会	団体総合第4位

令和6年度	都高体連	男子3年生大会	団体総合第3位
	都高体連	男子新人大会	団体総合第

6 今年度の参加予定大会

大会名

① 高体連	女子3年生大会	4月27日
② 高体連	男子3年生大会	5月4日
③ 都体協	種目別大会	8月16、17日
④ 高体連	女子1年生大会	10月12日
⑤ 高体連	男子新人大会	11月2日
⑥ 高体連	女子秋季大会	11月23日

7 部員数

	男子	女子	合計
1年	5	5	10
2年	2	0	2
3年	10	2	12
計	17	7	24

主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	生徒会部活動紹介 学年別大会へ向けて練習	中間考査期間 5 月 1 3 ～ 5 月 2 2 日	4 月 8 日
	5	学年別 3 年生大会男子（国士館大学）		5 月 7 日
	6	体操部保護者会（練習参観・指導方針・ 合宿等について説明）	期末考査期間 6 月 2 4 ～ 7 月 3 日	6 月 6 日
	7	夏季合宿健康診断	閉庁日 8 月 1 2 ～ 8 月 1 5 日	7 月 4 日
	8	夏季合宿（宿泊：府中市生涯学習センター 練習：府中西高校）7 月 3 1 ～ 3 日 合同練習会（本校会場） 種目別大会（錦城高校）		8 月 5 日
2 学期	9	文化祭：演技発表	9 月 6 ・ 7 日	9 月 5 日
	10	女子学年別 1 年生大会（錦城高校）	中間考査期間 1 0 月 9 ～ 1 0 月 2 0 日	1 0 月 4 日
	11	男子新人大会（国士館大学） 女子秋季大会（錦城高校）	期末考査期間 1 1 月 2 5 ～ 1 2 月 4 日	1 1 月 7 日
	12	基礎体力強化練習 冬季休業中 練習	年末 1 2 月 2 8 ～ 3 1 日	1 2 月 4 日
3 学期	1	基本的な技から発展的な技へレベルアップ を図る練習 次年度大会に向けて、演技構成を完成 させる。	年始 1 月 1 ～ 4 日 入選期間 1 月 2 3 ～ 2 7 日	1 月 4 日
	2	各種目における技の質を高める	入選期間 2 月 2 0 ～ 2 5 日	2 月 3 日
	3	新入生歓迎オリエンテーションでの 演技発表に向けての練習	学年末考査期間 2 月 2 4 ～ 3 月 5 日	3 月 4 日

令和7年ラグビー部の指導方針等について

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	小池 巨	小平 健太郎	S&C トレーナー	月 10 回
副顧問	野口 友輔	佐々木 敬太	アスレティックトレーナー	月 2 回
副顧問	本城 恵太			

2 年間目標

(68) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養う

(69) 競技大会等の目標
東京都ベスト8

(3) 地域貢献等の特色ある目標
ラグビーを通じた近隣中学校やラグビースクールとの連携

3 指導方針

(26) 部活動の質と量の工夫
週1～2日の休日を生徒の状況を見ながら設定
ビデオなどを見て視覚に訴えることによる練習の効率化

(27) 練習や試合等の計画
生徒の状況を鑑みながら月3～4回は練習試合を行う

(28) 基本的な生活習慣や規範意識育成
時間の厳守
準備・片づけを全員でやることの徹底
お互いの心を開く挨拶の徹底

(29) 生徒相互の人間関係
協調性、責任感の大切さを認識させる

(30) 学習と部活動
部活動後のだらだらした時間を無くし、メリハリのある生活習慣を身に付けさせる

(31) 生徒相互の人間関係
チームプレーを通じて、協調性や責任感を涵養する。

(7) 感染症防止対策
自己の健康管理を徹底させる。また、こまめな手洗いを行う。

4 指導内容・方法

種目の特性を鑑み、体幹トレーニング、ウェイトトレーニングや食事等への意識を高め、体

づくりを優先させ、常に安全に留意しながら行う。またトレーニングに関しては外部指導員の協力のもとさらに質の高い内容を目指す。

練習メニューに関しては生徒と密に連携を図りながら行う。

練習中にビデオを活用し、即フィードバックできるよう工夫する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	新入生の勧誘 春季大会東京都予選
	5	7人制大会東京都予選 部活動保護者会
	6	
	7	
	8	中学生向け体験練習会の開催
2 学期	9	全国大会東京都予選
	10	全国大会東京都予選 中学生向け練習体験会の開催
	11	
	12	新人大会東京都予選
3 学期	1	新人大会東京都予選
	2	
	3	三年生を送る会・OB総会（OB戦）

令和7年度 ダンス 部の指導方針等について

令和7年4月25日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	陳 寿美	中村 星仁	他学校で指導経験有	月に数回
副顧問	塚原 葉子			
副顧問	山崎 太郎			
副顧問	平田 環			
副顧問	佐々木 輝			
副顧問	清水 咲樹			

2 年間目標

- (70) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養うことを目標とする。
- (71) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
日本高校ダンス部選手権、MUSIC DAYS 東京大会 などの各大会において関東大会以上の成績を上げることが目標とする。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域イベント(西府文化センター祭り、府中市 みんなのスポーツ Day)への積極的な参加。

3 指導方針

- (32) 活動日及び活動時間(平日、週休日等)
月曜日、火曜日、水曜日、金曜日、土曜日。
- (33) 休養日
 - ・木曜日、日曜日、祝日。
 - ・各学期の定期考査1週間前より考査終了前日まで。
 - ・長期休業(春、冬)
 - ・夏季長期休業に関しては、お盆休みを設ける。
- (72) 活動場所
中央廊下、トレーニングルーム、(外部施設については主に府中市)
- (73) 練習や試合等の計画
各学年、年間2～3大会出場する。
- (74) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
学校の決まりを守り、規範意識を徹底する。
- (75) 生徒相互の人間関係
各学年、または学校単位として出場することから、相互理解と協調性の体得を目指す。
- (76) 学習と部活動
日々の学習を怠らないようし、部活との両立を図る。保護者との連携を図り指導する。
- (77) 健康管理
感染対策として活動前に手洗いうがいをはがける。その他健康チェックを行う。

4 指導内容・方法

- (2 1) 体罰・暴言等のない指導
顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2 2) 生徒間の暴力禁止
上級生から下級生へ、また同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることは絶対にないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。
熱中症対策も万全にする。(扇風機の活用、冷房施設の利用)
- (5) 健康管理
日々の活動時の体調チェックおよび様々な感染対策を行う。

5 大会等の主な記録

平成26年度	MUSIC DAYS 東京大会	優秀賞受賞
	MUSIC DAYS FINAL 大会	LOCKY & KEIKO 賞受賞
平成27年度	MUSIC DAYS 東京大会	最優秀賞受賞
	MUSIC DAYS FINAL 大会	JEPC(日本イベントプロデュース協会)賞受賞
平成28年度	MUSIC DAYS 東京大会	優秀賞受賞 オーディエンス賞受賞
平成29年度	MUSIC DAYS 東京大会	オーディエンス賞受賞
	東京工学院テクノスダンスパーク	ベストインパクト賞受賞
平成30年度	MUSIC DAYS 東京大会	優秀賞受賞(11月のFINAL大会出場決定)
	東京工学院テクノスダンスパーク	ベストヴィジュアル賞受賞
令和1年度	MUSIC DAYS 東京大会	オーディエンス賞受賞 高校生ダンス選手権参加
令和2年度	MUSIC DAYS 東京オンライン大会	
令和3年度	全国高等学校ダンス部選手権	オンライン参加
	Music Days 東京大会オンライン予選通過	東京大会本戦出場
	日本高校ダンス部選手権	関東大会ビッグクラス参加
	日本高校ダンス部選手権	新人戦スモールクラス参加
令和4年度	全国高等学校ダンス部選手権	ビッグクラス参加
	Music Days 東京大会オンライン予選通過	東京大会本戦出場
	全日本チームダンス選手権大会	関東大会ビッグクラス参加
	日本高校ダンス部選手権	新人戦スモールクラス参加
令和5年度	全国高等学校ダンス部選手権	ビッグクラス参加
	Music Days 東京大会オンライン予選通過	東京大会本戦出場
	全日本チームダンス選手権大会	関東大会ビッグクラス参加
	日本高校ダンス部選手権	新人戦ビッグクラス参加

6 今年度の参加予定大会

大会名	日付
① MUSIC DAYS 東京大会	7月21日(月/祝)
② 全日本高等学校チームダンス選手権大会	7月28(月)29(火)
③ 全国高等学校ダンス部選手権 (Dance Stadium) 関東甲信越大会 ビッグクラス参加	8月7(水)、8(木)、9(金)
④ 日本高校ダンス部選手権(Dance Stadium) 新人戦大会	--4月初旬

7 部員数

男子 女子 合計

1年	0	14	14
2年	0	11	11
3年	0	15	15
合計	1	40	40

8 主な年間計画

学 期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数
1 学期	4	活動開始新入生 仮入部 新入生歓迎会	中間考査 1週間前～ 考査終了前日	4 月 計 4 日
	5	作品づくり ミックスグループ分け	5/14～5/24	5 月 計 6 日
	6			6 月 計 5 日
	7	西府文化センター祭り MusicDays 東京大会 全日本チームダンス選手権大会	期末考査 1週間前～ 考査終了前日	7 月 計 4 日
	8	ダンススタジアム関東甲信越大会	6/22～7/4 お盆休み 8/13～8/18	8 月 計 5 日
2 学期	9	文化祭発表 ・引退ミーティング	中間考査	9 月 計 5 日
	10	・府中市立四谷小学校「グリーンフェスティバル」への参加 ・(府中市)「みんなのスポーツ Day」への参加	1週間前～ 考査終了日前日	10 月 計 5 日
	11	・「MUSIC DAYS 2016 FINAL 大会」出場	10/10～10/22	11 月 計 6 日
	12	・クリスマス公演の準備 ・クリスマス公演	期末考査 1週間前～ 考査終了日前日	12 月 計 4 日
3 学期	1		冬休み	1 月
	2		12/26～1/7	計 4 日
	3	ダンススタジアム新人戦	学年末考査 1週間前～ 考査終了前日	2 月 計 4 日
			2/24～3/6	3 月 計 4 日

令和7年度 写真部の指導方針等について

令和7年4月25日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	宮原 俊夫			
副顧問	瀬尾 美香			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「心身を鍛え、集団生活における帰属意識や協働・協調の精神を養う部活動」に寄与する活動を行う。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
東京都高等学校文化祭写真部門の地区、中央大会や多摩六都高校生写真展、文化祭展示、年2回を目途に校内展示等に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
近隣地区や地域の風景を写真を通して見直し、その中にある美を追求する。

3 指導方針

- (34) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）
毎週金曜日 午後3時40分から1時間20分程度
月1回土曜または日曜 3時間程度
- (2) 休養日
金曜日以外(ただし土曜日または日曜日に撮影会を実施する可能性あり)
- (3) 活動場所
多目的②教室
- (4) 練習や試合等の計画
東京都高等学校文化連盟主催の行事への参加、多摩六都高校生写真展、文化祭展示、校内展示等に取り組んでいく。
- (5) 本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶、言葉遣い、自ら考え・判断・行動する力を育成する。
- (6) 生徒相互の人間関係
お互いを思い遣り、写真を通してお互いの理解を高めていく。
- (7) 学習と部活動
学習と部活動の両立を目指して、家庭での学習時間を確保するよう指導する
- (8) 新型コロナウイルス感染症防止対策
部活動中にソーシャルディスタンスに留意し、換気の徹底をする。

4 指導内容・方法

- (23) 体罰・暴言等のない指導

体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰 関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(24) 生徒間の暴力禁止

上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用 現段階では計画していない。

(4) 事故防止・安全配慮

活動時には周囲に注意し、事故を起こさない・事故にあわないよう注意する。

(5) 新型コロナウイルス感染症防止対策

部活動中にソーシャルディスタンスに留意し、換気の徹底と共用の機材は使用に際し消毒する。

5 大会等の主な記録

令和4年度 東京都高等学校文化祭地区大会 出品 38 点、

中央大会 3 点入選、

多摩六都高校生写真展 22 点出品

令和5年度 東京都高等学校写真連盟地区大会 出品 21 点

中央大会 1 点入選、

多摩六都高校生写真展 20 点出品

令和6年度 東京都高等学校写真連盟地区大会 出品 16 点

中央大会 1 点入選、

多摩六都高校生写真展 50 点出品

6 今年度の参加予定大会

①東京都高等学校文化祭写真部門地区大会

②同 中央大会

③多摩六都高校生写真展

7 部員数

	男子	女子	合計
1 年	1	2	3
2 年	5	4	9
3 年	0	5	5
合計	6	11	17

8 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまった休養日	週休日活動日数
1 学期	4	一斉部会 部活動の話し合い	中間考査	0 日
	5	文化祭展示テーマの検討		1 日
	6	東京都高等学校文化祭写真 部門地区大会応募		1 日
	7	文化祭展示作品の撮影	期末考査	1 日
	8	文化祭準備 東京都高等学校文化祭写真 部門地区大会		1 日

2 学期	9	文化祭での展示		
	10	文化祭の反省 東京都高等学校文化祭写真	中間考査	1 日
	11	部門中央大会応募 校内展示会の実施	期末考査	1 日
	12	東京都高等学校文化祭写真 部門中央大会	年末	1 日
3 学期	1	次年度の準備活動	年始	0 日
	2	多摩六都高校生写真展準備		0 日
	3	多摩六都高校生写真展 年間活動の振り返りと反省	学年末考査	1 日

令和7年度 演劇部の指導方針等について

令和7年5月12日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	足立聖子	山本樹	元劇団昴団員	月に数回
副顧問	宮下透			
副顧問	荻久保倫子			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

(78) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像

一人一人が主体性をもって演劇に真摯に取り組む中で、自己表現力やコミュニケーション能力を鍛える。協同・協調の精神を養うとともに個としての批判精神を養う。

(79) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標

東京都高等学校文化祭演劇部門・多摩南地区大会出場、奨励賞や優良賞の獲得

(3) 地域貢献等の特色ある目標

地域で開催されるワークショップ等に積極的に参加する。

全国大会・中央大会等の運営に協力する。

3 指導方針

(35) 活動日及び活動時間（平日、週休日等）

月～金（3時間程度）

(36) 休養日

- ・木曜日、土曜日、日曜日、祝日。
- ・各学期の定期考査1週間前より考査終了前日まで。
- ・長期休業(春、冬)
- ・夏季休業に関しては、お盆休みを設ける。

(80) 活動場所

第三理科講義室

(81) 練習や試合等の計画

発声・身体訓練等の基礎訓練から、即興劇・読み合わせ・シアターゲーム等を通じ体力・表現力を養う。

4月 新歓公演 6月 新人フェス 7月短編発表会

9-10月 文化祭・地区大会 11月 都大会 12月 クリスマス公演 3月 卒業公演・春のフェスティバル

(82) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成

挨拶の励行、時間に対する感覚の醸成、健全な服装・頭髪

(83) 生徒相互の人間関係

相互理解と協調性、責任感を涵養する。

(7) 学習と部活動

家庭学習時間を確保させる。

(8) コロナ対策のため、活動前後に手洗いうがいをはがけ、換気に気をつけて活動する。

4 指導内容・方法

(25) 体罰・暴言等のない指導

顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(26) 生徒間の暴力禁止

上級生から下級生へ、また同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることは絶対にないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

熱中症対策も万全にする。(冷房設備の利用、給水・休憩時間の確保)

(5) 新型コロナウイルス感染防止のため、定期的な検温、体調の確認を行う。

5 大会等の主な記録

平成31年度	東京都高等学校文化祭演劇部門多摩南地区大会出場
令和2年度	東京都高等学校文化祭演劇部門中央大会 優秀賞、豊博秋舞台美術賞
令和3年度	東京都高等学校文化祭演劇部門多摩南地区大会出場
令和4年度	東京都高等学校文化祭演劇部門多摩南地区大会特別公演
令和5年度	東京都短編演劇発表会優秀賞 東京都高等学校文化祭演劇部門多摩南地区奨励賞
令和6年度	東京都短編演劇発表会優良賞 東京都高等学校文化祭演劇部門多摩南地区大会出場

6 今年度の参加予定大会

大会名	日付
⑤ 東京都高等学校文化祭演劇部門地区大会	9-10月
⑥	

7 部員数

	男子	女子	合計
1年	1	0	1
2年	1	3	4
3年	2	1	3
合計	4	4	8

8 主な年間計画

学期	月	内 容	まとまった 休養日	週休日の 活動日数

1 学期	4	新歓公演		
	5	基礎訓練、新人デビューフェス準備		5 月 計 1 日
	6 7	新人デビューフェス 作品づくり	期末考査 1 週間前～ 考査終了前日	6 月 計 1 日
	8		お盆休み 8/10～8/17	7 月 計 0 日 8 月 計 3 日
2 学期	9	作品づくり	中間考査 1 週間前～ 考査終了日前日	9 月 計 4 日
	10	地区大会出場		10 月 計 4 日
	11	都大会 クリスマス公演準備	期末考査 1 週間前～ 考査終了日前日	11 月 計 4 日
	12	クリスマス公演		12 月 計 4 日
3 学期	1 2 3	卒業公演準備 卒業公演 新歓準備	冬休み 学年末考査 1 週間前～ 考査終了前日	1 月 計 4 日 2 月 計 4 日 3 月 計 4 日

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。